

平成 20 年度 財団法人浜松市フラワー・フルーツパーク公社 事業計画

1 運営の基本方針

「花とみどりのまち・浜松」の拠点施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」のある魅力あふれる園づくりを積極的に進めるとともに、大型イベントや各種行事をタイムリーに開催するなどして、来園者の増に努めてまいります。また、花き園芸、果樹園芸技術の更なる向上と園芸文化の情報発信機能を高め、近隣レジャー施設との連携を今まで以上に強化することはもとより、園運営にあたっては効率的・効果的な組織編成、人員配置等を実施するなど経営の健全化に取り組んでまいります。

フラワーパークにおいては、引き続き花木類の充実に努めていくとともに、百種接分菊や人気の高い青バラ、ヒマラヤの青いケシ等を用いたイベントの浸透を図るほか、クリスマスイルミネーションの更なる魅力アップなど、夜間開園の一層の充実も図ってまいります。

また、平成 21 年度にフラワーパークでの開催が決定した「浜松モザイカルチャー世界博 2009」についても円滑なイベント実施に向け、調整を進めてまいります。

フルーツパークにおいては、園の中心事業である果物の収穫体験で高品質の果実の提供に努め、収穫体験を重視した植栽変更を継続するほか、イチゴ狩りシーズンでは恒例のイベント（1～2 月の雪遊び広場、3 月のアーモンドフェスタ）を組み合わせ、より魅力ある園づくりをしてまいります。また、白フジ（総延長 150m）の花が今年度から咲き始めることから、ゴールデンウィークの新たなイベントとして誘客活動に努め、フルーツパークの新しい見所として定着を図ってまいります。

更に里山の豊かな自然に親しむゲンジボタル観賞会や地元関係者と協力してつり堀を開催したり、奥浜名湖観光連絡協議会やグリーンツーリズム協会等と連携した事業を展開するなど、地域と一体となり園の魅力を積極的に情報発信し、誘客につなげてまいります。

2 事業内容

(1) 共通事項

ア 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営、栽培技術の指導

(ア) 園内観覧乗物（トレイン）による広範な園内観賞の推進

(イ) 各種園芸教室・講習会の開催及び相談業務の推進

(ウ) 教育関係者及び児童生徒等研修生の受入

イ その他目的を達成するために必要な事業

(ア) 公社経営健全化の推進

(イ) 売店、遊戯施設及び駐車場の管理運営

(ウ) 大型イベントや各種行事の実施及びインターネット等メディアを活用した園内情報の随時発信

(エ) ボランティアガイドの育成及び園芸作業ボランティアの受入

- (オ) 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進
- (カ) ダイレクトメールなどによる誘客活動の推進

(2) 浜松市フラワーパーク

ア 花き類の栽培展示

- (ア) メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- (イ) チューリップ展示の充実
- (ウ) 花ハス、スイレン等水生植物の展示
- (エ) 大型トピアリーの展示
- (オ) 花いかだによる水上装飾展示
- (カ) 早春咲きのハナナ、スイセンの展示
- (キ) ヒマワリ、コスモス花壇の充実
- (ク) アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- (ケ) 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- (コ) 花梅園の修景及び早春ボタン特設花壇の充実
- (ク) 有用植物の栽培展示（薬草植物等）
- (ソ) 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示

イ 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営

- (ア) 夜間開園の充実（クリスマスファンタジー等）

ウ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営

- (ア) ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- (イ) 展示用植物の育成管理
- (ウ) 熱帯植物の育成管理
- (エ) 球根ベゴニアの育成管理
- (オ) サボテン類、珍しい草花の育成管理
- (カ) 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理

エ 花きの栽培技術の指導

- (ア) キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定

オ 花きの優良種苗の生産及び配布

- (ア) キクのオリジナル品種の育成及び配布
- (イ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託

カ 浜松市からの業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市動物園使用料徴収業務、植栽地等維持管理業務の受託

キ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) レストラン、温室カフェ等便益施設の管理運営
- (イ) 「ホテルの夕べ」や夏休み自然体験教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進

- (ウ) 動物園との合同イベント実施による誘客機能の向上
- (エ) 館山寺温泉観光協会等地域観光施設との連携による重点地域（中京圏）への誘客
宣伝強化
- (オ) 幼稚園、小中学校団体をはじめとした子供向け体験イベント等の企画充実
- (カ) 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進

(3) 浜松市フルーツパーク

ア 果樹類の栽培展示

- (ア) 果樹類の標準管理技術及び新しい栽培技術の実証展示
- (イ) 修景木の植栽整備及びトロピカルドーム等園内施設の管理運営

イ 果樹の優良種苗の生産及び配布

- (ア) 果樹類の品種の収集、保存及び新果樹・新品種の導入、試作及び展示
- (イ) 浜松市農業バイオセンターと連携した組織培養による果樹の育苗技術の確立

ウ 浜松市からの業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市農業振興施設、リンゴ並木及び農林業体験実習館管理業務の受託

エ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) ふれあい市場等を利用した市民交流の推進
- (イ) くだもの収穫体験の充実と通年化の推進及び地元農家との連携による受入体制
の組織化推進
- (ウ) デイキャンプ、つり堀及び都田川の水遊び等自然資源の有効活用
- (エ) 無料大型遊具「宝くじ遊園」を利用した誘客活動、テナント等と連携しての誘客
活動の推進
- (オ) グループ向けこども体験教室の情報発信
- (カ) 新しい見所である白フジのイベントの実施
- (キ) モモ、リンゴ、ブルーベリーなど収穫体験での人気の品種に植栽変更した果樹の
育成管理
- (ク) クリの一部をアーモンドに植栽変更及びモモとリンゴの品種変更
- (ケ) 調整温室で栽培しているパッションフルーツの一部をゴレンシ(スターフルー
ツ)に変更し、試験栽培
- (コ) 紅葉の美しい樹種を西エリアに植栽

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 人件費削減・職員数の見直し

定年退職、中途退職の補充を行わず、弾力的な人員配置や臨時雇用により対応し、
人件費の削減を図ります。

区 分	本年度	前年度	増減
正規職員数	47人	48人	△1人
その他職員数	4人	4人	0人
人件費	317,409千円	320,640千円	△3,231千円

(2) CS（顧客満足）システム強化による愛される園づくりの推進

従来の運営方法から一歩進めた顧客満足（CS）の考え方を導入し、アンケート調査等に基づく顧客満足度の的確な把握とお客様の声をダイレクトに運営に反映させるシステム構築を推進することで、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられたクレーム等をマニュアル化し、その再発防止を徹底させる。

イ アンケートで毎月数値化されて出てくる「顧客満足度値」の向上を図る。

（平成20年度目標満足度点数4.5点 平成17、18年度点数4.3点/5点満点中）